

## 産業建設委員会記録

開会年月日	令和4年12月15日
開会時刻	午前9時56分
閉会時刻	午前10時42分
出席委員名	◎野崎隆太 ○野口佳子 三野泰嗣 井村貴志
	上村和生 北村 勝 吉井詩子 宿 典泰
	品川幸久 議長
欠席委員名	なし
署名者	三野泰嗣 井村貴志
担当書記	森田晃司
審査案件	議案第95号 令和4年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）（産業建設委員会関係分）
	議案第99号 令和4年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）
	議案第101号 令和4年度伊勢市水道事業会計補正予算（第1号）
	議案第102号 令和4年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第1号）
	議案第110号 伊勢市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正について
	議案第116号 市道の路線の認定について
	閉会中の継続審査・調査案件について
説明員	産業観光部長、産業観光部理事、農林水産課長、農林水産課副参事、都市整備部長、都市整備部次長、維持課長、上下水道部長、
	上下水道部次長、上下水道総務課長、上水道課副参事、
	その他関係参与

## **審査経過**

野崎委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に三野委員、井村委員を指名した。

その後、直ちに議事に入り、去る12月12日の本会議において審査付託を受けた「議案第95号 令和4年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）中、産業建設委員会関係分」外5件を審査し、いずれも全会一致で原案どおり可決すべしと決定し、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することで決定した。

次に、「閉会中の継続審査・調査案件について」を議題とし、協議の結果、「観光交通対策に関する事項」の調査を終了し、新たに「商業活性化に関する事項」、「観光振興に関する事項」、「農林水産に関する事項」を追加すること、また、継続審査・調査案件として申し出ることを決定し、閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前9時56分

### ◎野崎隆太委員長

ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立をしております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名は委員長において三野委員、井村委員の御両名を指名いたします。よろしくお願いいたします。

本日御審査いただきます案件は、去る12月12日の本会議におきまして、産業建設委員会に審査付託を受けました6件及び「閉会中の継続審査・調査案件について」の合わせて7件であります。

案件名については、審査案件一覧のとおりであります。

お諮りいたします。

審査の方法については、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

### ◎野崎隆太委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

また、委員間の自由討議につきましては、申出がありましたら随時行いたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

## **【議案第95号 令和4年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）（産業建設委員会関係分）】**

### ◎野崎隆太委員長

それでは、「議案第95号 令和4年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）中、産業建設委員会関係分」を御審査願います。

補正予算書の16ページをお開きください。

款2総務費、項1総務管理費、目21交通対策費を御審査願います。

御発言はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎野崎隆太委員長

御発言もないようですので、款2総務費の当委員会関係分の審査を終わります。

次に、26ページをお開きください。

款6農林水産業費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

上村委員。

○上村和生委員

おはようございます。

まず最初に、項3の農業振興費のところをお聞かせをいただきたいと思います。

国産小麦産地生産性向上事業ということで、1,510万2,000円ということで上げられておりますけれども、この事業初めて聞く名前だと思うんですけども、ここには生産性の向上のために「先進営農技術の導入など生産性の向上に取り組む農業者を支援する」というように書かれておりますけれども、具体的にどんな事業なのかちょっと教えていただきたいと思います。

◎野崎隆太委員長

農林水産課長。

●野中農林水産課長

ただいまの御質問にお答えいたします。

この事業は、国のほうが5月に発表いたしました新しい事業でございます。

御存じのように、ロシアのウクライナ侵攻等により両国からの小麦粉が非常に入りにくくなって、不安定になっております。そのことから、国のほうが外国産小麦から国内産への切替えを推進するために、その生産性の向上に必要な技術の導入とか、あと生産体制を強化することによって安定強化を図るものに対して補助するものでございます。

それで、市内の小麦農家さんのほうにそういった営農技術導入に取り組まれる方、またその水田を活用して圃場を拡大する方に対する支援の補助となっております。以上です。

◎野崎隆太委員長

上村委員。

○上村和生委員

新しい新事業や言うと、こんな細かい数字まで、2,000円とかそういう数字まで端数ってなかなか出てこないと思うんですけども、ていうことはこれ何か、前段で何かを応募を取ったとかそういうことになるんですか。その辺ちょっと教えてください。

◎野崎隆太委員長

農林水産課長。

●野中農林水産課長

先ほど申し上げた、5月に国が発表になってから、調査、要望を聞き取りをなさいたいということがありまして、市内の小麦農家全てに聞き取りを行った上で、金額を固めております。以上です。

◎野崎隆太委員長

上村委員。

○上村和生委員

ということは、市の持ち出しという部分については基本的にはないってことなんでしょうか。ちょっと、全て県なり国なりの支出金なりが出てくるということですか。

◎野崎隆太委員長

農林水産課長。

●野中農林水産課長

仰せのとおり100%国事業で、端数の部分の郵送料とか振込手数料だけが単費となっております。以上です。

◎野崎隆太委員長

上村委員。

○上村和生委員

分かりました。

次に、項5の畜産業費について教えていただきたいと思います。

「原油価格高騰等により、松阪食肉公社の経営状況に大きな影響が出ているため、三重県と17市町が協調し、支援する」というふうに説明書のほう書かれておるわけなんですけれども、この辺の具体的な部分、なぜこの金額に伊勢市がなったのか、その辺の部分をちょっと説明いただきたいと思います。

◎野崎隆太委員長

農林水産課長。

●野中農林水産課長

これは三重県と出資している各関連市町におきまして、試算をしましたところ、燃油であるA重油と電気代が、およそ2,000万円不足するという試算が出ました。その2,000万円のうち、1,000万円を三重県が負担しまして、残りの1,000万円を各市町で案分しております。案分については資本金割とか人口割、また公社の利用割で算出しております。以上で

す。

◎野崎隆太委員長  
上村委員。

○上村和生委員

ですので、大元の不足する部分というのは2,000万円ということで理解させてもらってよろしいですか。

◎野崎隆太委員長  
農林水産課長。

●野中農林水産課長

試算の上で2,000万円ということで、結構かと思います。

◎野崎隆太委員長  
上村委員。

○上村和生委員

もう一つ、項7の湛水防除事業費について教えていただきたいと思います。

これについては「県が実施する排水機場の保全工事等に対する負担金」というふうにかかれただけで、どこをするのか、ちょっと見えてきませんので、その辺の部分を教えていただきたいと思います。

◎野崎隆太委員長  
農林水産課副参事。

●徳田農林水産課副参事

まず、湛水防除事業の排水機維持管理経費でございます。

しゅんせつのほうでございますけれど、排水機場につきましても、鹿海と松下の排水機場のしゅんせつを考えております。

また、排水機維持管理経費の機能更新のほうでございますけれど、これにつきましても、新田排水機場と通排水機場の保全工事を考えております。以上です。

◎野崎隆太委員長  
上村委員。

○上村和生委員

先ほど、鹿海排水機場のしゅんせつという話をされたと思うんですけども、これって当初予算の中で上がったように思うんですけども、その辺との絡みをちょっと教えてく

ださい。

◎野崎隆太委員長

農林水産課副参事。

●徳田農林水産課副参事

委員仰せのとおり、令和3年度の補正予算で、この鹿海及び松下につきましても、予算として上げさせていただいておったところ、遊水地の土壌調査を県が行ったところ、ホウ素という物質が検出されました。それにつきまして処理方法について県のほうでちょっと日数を要し、今年度中の完成が見込めなくなったということで来年度に向けての早期着工ということで、新たに予算を上げさせていただき、その負担金を計上させていただいております。以上です。

○上村和生委員

分かりました。ありがとうございます。

◎野崎隆太委員長

他に御発言はございませんか。

北村委員。

○北村勝委員

すみません。私もほとんど上村委員と重なるところをお聞きしたかったんで、数点だけちょっと確認だけさせていただこうと思いますので、かぶらないところで少し聞かせていただきたいと思います。

まず、先ほどの排水機場の管理経費、しゅんせつをしていただくということで、場所も松下、それから鹿海というふうに伺ったわけなんですけど、それで同じく機能更新ということも、新田それから、通ですか、伺ったんですけど、この繰越明許があるということで、令和3年度から工事してもらってるわけなんですけど、これいつまで工事をされるのか、少しそのとこだけ、1点だけお聞かせ願いたいと思います。

◎野崎隆太委員長

農林水産課副参事。

●徳田農林水産課副参事

まず、しゅんせつの鹿海、松下の、いつまでかかるかというような御質問でございますけれど、一応予定としては夏ごろ完成に向けて、三重県のほうは進めると聞いております。以上です。

◎野崎隆太委員長

北村委員。

○北村勝委員

すみません、もう1点、機能更新のほうについて少しそこも教えてください。

◎野崎隆太委員長

農林水産課副参事。

●徳田農林水産課副参事

まず、新田のほうにつきまして、今年度、設計が終わる予定でございます。この設計が終わり次第工事ということになるんですけど、おそらくは来年度中っていうことは聞いておるんですけど、実際設計に基づいて工事したところで、工期が決まってくるところもございます。それで基本的には、渇水期に向けて工事を進められると聞いておるんですけど、ちょっと設計次第というところもありますので、えらい申し訳ございません。

○北村勝委員

分かりました。ありがとうございます。

◎野崎隆太委員長

他に御発言はございませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

国産小麦のことで今質問がありました。

結果的には、市内での小麦の生産の量というのをちょっとどれぐらいの量になるのかっていうことをちょっと教えてください。

◎野崎隆太委員長

農林水産課長。

●野中農林水産課長

この取組によって拡大される生産量は約147トンというふうに試算しております。以上です。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿典泰委員

そうすると147トン増えるということで解釈していいんですかね。

◎野崎隆太委員長

農林水産課長。

●野中農林水産課長

仰せのとおり、増える見込みが147トンということです。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿典泰委員

そうしますと、147トン、合わせて何トンになるわけですか。

◎野崎隆太委員長

暫時休憩をいたします。

休憩 午前10時08分

再開 午前10時09分

◎野崎隆太委員長

休憩を解き、会議を再開いたします。

農林水産課長。

●野中農林水産課長

失礼いたしました。

今現在、1,092トンのところが147トン増えるという見込みでございます。以上です。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿典泰委員

これは国に聞かんと仕方のない話ですけれども、米も年次によっては、米余りというのか、そういう状況になってくると、国内で小麦を生産していくということに方針をちょっと転換をしたんで、こういう国からの100%で補助が生まれたとは思いますが、そのあたりの伊勢市として、農業生産の中の小麦をどれぐらいまで持っていくと、地産地消じゃないですけど、大体賄えるトン数ができるかなというようなことを、これからやりながら補助をもらっていくということが必要になると思うんですけど、そのあたりの目標をきちっと定めるというようなことも含めてやっていただきたいと思うんですけど、そのあたりどうでしょうか。

◎野崎隆太委員長

農林水産課長。



●野中農林水産課長

委員仰せのとおり、目標定めることが必要であると思います。まだできたばかりの制度でございますが、しっかりと米の生産、また米との絡みもちゃんと研究いたしまして、今後の施策をしていきたいと思っております。以上です。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿典泰委員

それはもう地方からのお願いみたいなことになると思うんですけどね、やっぱり伊勢市の小麦を使う販売店等々、パンも含めてそうですけど、そういったところが伊勢市は安定した小麦生産があるのでっていうことを言われるような状況をつくっていくということがもう大事なかなと思うので、一言言わせていただきました。

排水関係のことで、先ほどしゅんせつから、設計からということで、いわゆる15%ぐらいが負担金ということになるので、県頼みということになるんですけど、そのあたりのことはもうこれは伊勢市からすると県へのお願いということになってしまうかも分らないんですけど、きちっとこの年度を越えないような関係で、県に再度、期間としていつ頃を本当に終わるものなのか、設計次第という話もあって、それはそれでよく理解もするんですけど、設計が遅くなったんでまた翌年度に繰越したみたいなことにならないような管理のやり方をちょっとやってもらわないかなかなと思うんですけど、そのあたり1点だけお聞かせをください。

◎野崎隆太委員長

農林水産課副参事。

●徳田農林水産課副参事

委員仰せのように繰越しというふうなことになってしまいましたが、県のほうにも、早期完成に向けて要望していきたいと思っております。

また、県のほうに、排水機場のことですので、なかなか雨降りにエンジンが動かんと、台風が来る時期とかに工事しておると、そういったところの工期の制限というところがありますけど、早期完成に向けて、県のほうにはお願いしていきたいと思っております。以上です。

○宿典泰委員

ありがとう。

◎野崎隆太委員長

他に御発言はございませんか。

発言もないようですので、款6農林水産業費の審査を終わります。

次に、28ページをお開きください。

款7 商工費を款一括で御審査を願います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御発言もないようですので、款7 商工費の審査を終わります。

次に、30ページをお開きください。

款8 観光費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御発言もないようですので、款8 観光費の審査を終わります。

次に、32ページをお開きください。

款9 土木費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御発言もないようですので、款9 土木費の審査を終わります。

以上で、議案第95号中、産業建設委員会関係分の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第95号 令和4年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）中、産業建設委員会関係分」については、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

#### 【議案第99号 令和4年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）】

◎野崎隆太委員長

次に、「議案第99号 令和4年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）」を御審査願います。

87ページをお開きください。87ページから99ページです。

本件については一括で御審査を願います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御発言もないようですので、以上で議案第99号の審査を終わります。  
続いて討論を行います。  
討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。  
お諮りいたします。

「議案第99号 令和4年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算（第1号）」については、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

### 【議案第101号 令和4年度伊勢市水道事業会計補正予算（第1号）】

◎野崎隆太委員長

次に、「議案第101号 令和4年度伊勢市水道事業会計補正予算（第1号）」を御審査願います。

115ページをお開きください。115ページから126ページです。

本件についても一括で御審査を願います。

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

117ページですか、原水費のところでは4,119万円の補正をかけてます。その内容からすると、備考のほうには、動力費として4,909万2,000円上がっておるんですけど、このあたりの理由を聞きたいのと、もう一つ配水及び給水費のところのこれも動力費が1,194万8,000円上がってます。そのあたりを教えてください。

◎野崎隆太委員長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

まず、原水費のほうの動力費のほうでございますが、こちらにつきましては、水源地の施設の動力費が上がったため計上させていただいております。

〔「もう一回言うてんかん、分からへん」と言う者あり〕

●服部上水道課副参事

まず、理由でございますが、原材料の燃料費の動力費の高騰でございますが、原油価格の高騰によりまして、電力料金に含まれます燃料費調整額が上がったことが増額させていただいた理由となっております。

原水費の動力費でございますが、内訳といたしましては、水源地7施設の動力費につきまして計上させてもらってまして、配水費及び給水費のほうの1,190万円につきましては、配水場の加圧ポンプ場35施設の動力費を計上させていただいております。以上でございます。

◎野崎隆太委員長  
宿委員。

○宿典泰委員

よう分かったような分からん話なんやけども、原水費のところの4,900万円は材料が上がったの。上がったもので、関連して上がったということなんかな。ちょっと下の配水機場は35か所、電気代、ちょっとそのあたりもう一度答えてもらえますかね。

◎野崎隆太委員長  
上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

すみません。全国的な話でございますが、原油価格の高騰から電力料金に含まれます燃料費の調整額が上がりまして、電力料金が上がったということで補正させていただいております。以上です。

◎野崎隆太委員長  
宿委員。

○宿典泰委員

改めてお聞きしたいんですけど、原水費の動力費というのは、佐八の分だけなんですかね、ちょっとほかにちょっと想像もできないのでちょっと御説明を願います。

◎野崎隆太委員長  
上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

すみません。7施設の内訳でございますが、まず、宮川水源地、五十鈴川水源地、中須水源地、宮前第1水源地、宮前第2水源地、下村水源地、床ノ木水源地の7施設でございます。

◎野崎隆太委員長  
宿委員。

○宿典泰委員

分かりました。そうすると、原材料の高騰も含めて、電気代がいろいろ上がってきたというのは先ほどの一般会計のほうもすごくあったんですけど、それと同時に、給配水の関係になるのか、電気料金自体は、中電ではなくて何か別の契約を何かしたっていうようなことを聞いたんですけど、そのあたりの影響というのはなかったんでしょうか。

◎野崎隆太委員長

上下水道部次長。

●倉野上下水道部次長

委員おっしゃるように電力量につきましては2年前から、新電力の会社のほうに入札契約をさせていただいておりました。

そういったことで、コスト縮減に努めてまいりましたが、今回電力会社のほうが倒産ということになりまして、新たに中部電力ミライズのほうと契約をして、現在に至っております、こういう経過になっております。以上でございます。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿典泰委員

その件というのは倒産したっていうのは、倒産と言いましたよね。いつ倒産したっていうことをでしたか。

◎野崎隆太委員長

上下水道部次長。

●倉野上下水道部次長

令和4年3月15日に電力の打切りがあったということでございます。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿典泰委員

いや、本来なら、それで電気料金が上がったということであれば、我々のほうに報告をしてもらう必要があったんと違うかなと思うんですけど、我々のほうは、電気料金を少しでも下げたらいいなと、それはもう皆さんが努力してやっていただいとるのは、そのとおりだと思うんですけど、その電気料金の新会社に乗換えて安く抑えていこうと、それも方針としてはよろしいなということ聞いてったわけですよ。でも、そこが使えなくて、今度また中電ミライズ、何か中電の新しい会社が変わるとのことやったらどれだけの電気料金の予定の差額が出るんだとか、倒産の結果こういうことやったっていうことは、我々に説明してもらわないかんの違うかなと思うんですけど、そのあたりはどんなんです

か。

◎野崎隆太委員長

上下水道部次長。

●倉野上下水道部次長

いろいろ経緯がございました。

その折に、なかなか電力会社が見つからずに最終電力保証会社である中部電力パワーグリッドという会社に一旦契約をすとか、そういった諸々の経緯がございまして、その途中で最終契約先として、ミライズのほうと契約させていただいたという経緯がございます。今おっしゃられるように、その都度報告すべきであったという御指摘でございますが、電力の高騰というのも一番大きな原因がミライズ云々というよりも、先ほどから申しましてますように燃料調整費の高騰というようなことが原因となっており、これはそのまま、たとえば、その後会社の倒産がなくてしておっても燃料調整費のほうは御承知のとおり上がったというような状況でございます。

おっしゃられるように結果論にはなるんですけども、その際は一般的にそういった流れの中で、致し方ないというような判断をさせていただいて、御報告はさせていただいておりませんでしたけども、御指摘は真摯に受け止めて今後そのような事態に陥った場合は、また御報告するように努めてまいりたいと思います。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿典泰委員

会話を責めてもいけませんけど、何か今の話聞いとると開き直りのような感じで私は捉えました。

新会社へ行くときには、今の電気料金が安くなるぞということを言われとって、理由は、新会社であろうが中部電力であろうが、上がるもんは上がったんやというような開き直りで僕は取ったんですけど、そういう話ではなくて、予算・決算の中で、そういった大きな電力についても大きな割合が占めてくると思うので、それが新会社がこういう状況で倒産した時には中電パワーグリッドですか、に移りますと、しかし、電気料金は今までの、これこれこういう状況になっても変わらんような状況になるというような報告は当たり前にする話であって、結果からして、変わりましたんかっていう話になったわけやから、ちょっとそのあたりの説明っていうのは、説明不足じゃなくてあなたらの態度の話と違うなと思ったんでもう一度お答えください。

◎野崎隆太委員長

上下水道部次長。

●倉野上下水道部次長

すみません。決して開き直ったつもりはございません。そのように聞こえてしまいましたら申し訳なく思います。

繰り返しになるんですけども、おっしゃられるように今後、報告を怠らないように努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

◎野崎隆太委員長

上下水道部長。

●成川上下水道部長

電力会社の契約相手先が変更になったというようなことを御報告させていただいていなかったこと、申し訳ございません。

電気料金の高騰、これはもう全国的な傾向でありまして、これからまた下水道のほうの御審査をいただきますけれども、水道事業、下水道事業、両方がこの1年間の間で入札の結果、電力会社と契約しておいたものが水道事業の場合は、倒産によって、次の相手先を見つけなければいけないという事態でございました。

下水道に関しましては、契約満了後、また、新たな契約先を見つけるために入札を行いました。不調というようなことで、また中部電力のほうに現在契約しているというような状況でありまして、今回の全国的な動きの状況も踏まえて、来年度、令和5年度に向けての契約に当たりましては、安定的に電力を供給を受けるというような視点も含めて、契約先を決めていきたいと思っておりますので、どうぞ御理解いただきますようよろしくお願いいたします。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿典泰委員

そうすると、水道事業の全般で、電気料金に充てる会計上の数字というのは幾らなんですか、全体で。

◎野崎隆太委員長

上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

今回の令和4年度予算で、この動力費につきましては、当初予算におきまして1億5,774万円を計上しておりました。今回、2つを合わせまして、6,104万円を補正増額しておりますので、合計で2億1,281万4,000円となります。以上です。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿典泰委員

つまり電力の話は高騰、高騰という言われて仕方がない話やということに、それは結果的にはそういうことなんでしょう。でもやはり電気料金が、逆にそういう状況の中で、全然行革としては減らすことができないということになったときに、会計の話としては、どのあたりのことをどういうふうにして減らしていくかということが、全体として見えないと、また水道料金も事業計画をちゃんと組んでますから、25年、30年後に料金が上がるなんていうことをみすみす見過ごすようなことになってはいかんの、そのあたりというのはどのようにこれから考えていくのか、ちょっとお聞かせをください。

◎野崎隆太委員長

上下水道部長。

●成川上下水道部長

今回の電気の高騰というのは、電力会社のほうからも聞かせていただいておりますけどもまだまだ、年度末に向けても続くということは伺っております。

来年度以降もそういった傾向は、続くであろうという想定も当然ありますので、財政収支計画に大きな影響が出てくるというところで、まずは現実的に必要な経費をきちんと見込んで、収支計画の見直しっていうことも図っていきたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿典泰委員

いろいろと言わせていただきましたけども、結果として、20年後にはもう水道料金すごいような状況になってくるということでは困る話で、今のうちにこういう電気代が、こちら側の関係としては、うまく操作ができないとしたら、やはり別のこともいろいろ考えていかなきゃならん話だと思うんですね。それを併せて、値上がりがあったけれども、落ちついた状況になっておるということをやっていただくのがあなたらのお仕事だと思うんです。管理してもらった以上はね。だから、そのあたりのことが市民から来ても、やはり、こんだけで努力していろいろやっていただいとんやなっていうことを気づけるような状況をやはりきちっとつくってもらわないかと。そのためにはやはり、電力会社が変わりましたんやわって、今の時世やで電気代が上がるのはしゃあないわという話ではちょっと済まされん話だと思うので、そのあたりぐらいはきちっと情報共有して、今後の料金に反映されないような状況のことをちゃんとつくってほしいと思います。これはもう要望的になってしまいますけど、よろしくお願いたします。

◎野崎隆太委員長

上下水道総務課長。



●中山上下水道総務課長

すみません。先ほど、お答えさせていただきました動力費の総額、少し答弁間違えておりまして、訂正を願います。

元々、9,073万4,000円の当初予算でございました。それに今回の補正額6,104万円を加えまして、合計が、補正後が1億5,177万4,000円となります。すみません。訂正させていただきます。失礼します。

◎野崎隆太委員長

宿委員、よろしいですか。

○宿典泰委員

はい。

◎野崎隆太委員長

他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

他に発言もないようですので、以上で議案第101号の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第101号 令和4年度伊勢市水道事業会計補正予算（第1号）」については、原案どおり可決すべしと決定いたしまして、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御異議なしと認めます。そのように決定をいたしました。

**【議案第102号 令和4年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第1号）】**

◎野崎隆太委員長

次に、「議案第102号 令和4年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第1号）」を御審査願います。

127ページをお開きください。127ページから140ページです。

本件についても一括で御審査を願います。

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

129ページに営業収益、営業外収益の597万円というのが差し替えがありますけれども、このあたりのちょっと理由をお聞かせをください。

ごめんなさい。もう一つ、ポンプ場費のところにも597万円とありますので、これの関連があるのかもちょっと確認をしたいです。

◎野崎隆太委員長

上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

まず、収入のほうからでございます。

今回先ほど委員がおっしゃっていただきましたようにポンプ場費のほう597万円に増額補正しております。こちらのポンプ場費につきましては、基準内繰入れの繰入金の対象となっておりますので、こちら収入のほうで他会計負担金597万円を増額しまして、あと、全体の一般会計からの繰入れ総額は変更しておりませんので、その分、他会計補助金であります基準外の繰入れを減らしまして、財源調整をさせていただいたものでございます。

それからポンプ場費の委託料につきましては、下水道施設の雨水ポンプ場につきましては、その運転管理委託を一般会計のほうで委託させていただいて、会計上委託して、一般会計のほうの職員で維持管理をしておりますので、そこへ、先ほどの一般会計の補正予算の中で電気代のほうを増額補正しておりますので、こちらも合わせまして、委託料として増額させていただいたものでございます。以上です。

◎野崎隆太委員長

宿委員。

○宿典泰委員

ごめんなさい。そうすると、一般会計では597万円はどこへ出てくるんですって。

◎野崎隆太委員長

維持課長。

●濱口維持課長

先ほどの予算書の33ページに戻っていただいて、下水道施設管理費っていうのがございます。こちらの電気代の補正となっております。

○宿典泰委員

はい、ありがとうございます。分かりました。

◎野崎隆太委員長

他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御発言もないようですので、以上で議案第102号の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第102号 令和4年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第1号）」については、原案どおり可決すべしと決定いたしまして、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御異議なしと認めます。そのように決定をいたしました。

**【議案第110号 伊勢市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正について】**

◎野崎隆太委員長

次に、条例等議案書の138ページをお開きください。

138ページから140ページ、「議案第110号 伊勢市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正について」を御審査願います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御発言もないようですので、以上で議案第110号の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第110号 伊勢市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正について」は、原案どおり可決すべしと決定いたしまして、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御異議なしと認めます。そのように決定をいたしました。

**【議案第116号 市道の路線の認定について】**

◎野崎隆太委員長

次に、152ページをお開きください。

152ページから153ページ「議案第116号 市道の路線の認定について」を御審査願います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御発言もないようですので、以上で議案第116号の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第116号 市道の路線の認定について」は、原案どおり可決すべしと決定いたしました。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御異議なしと認めます。そのように決定をいたしました。

以上で付託案件の審査は全て終了しました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成については、正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御異議なしと認めます。そのように決定をいたしました。

## 【閉会中の継続審査・調査案件について】

◎野崎隆太委員長

次に、「閉会中の継続審査・調査案件について」を御協議願います。

閉会中の継続審査・調査項目として、本日御手元に配付をいたしましたとおり、常任委員会の継続調査案件一覧表のとおり、調査をしております。

本日は、閉会中の継続審査・調査案件について精査を行いたいと思います。

正副委員長からの案としては、「観光交通対策に関する事項」の調査を終了し、新たに「商業活性化に関する事項」、「観光振興に関する事項」及び「第1次産業振興に関する事項」を追加したいと思います。

このことについて、御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

今の話は結構なことだと思うんですけど、やはり前回、上村委員長のときに農業関係のことをこれから入れていかないと、先ほどの小麦の話だけではなくて、これからもう農業はどういうふうにして、伊勢市のほうで発展、進歩していくかということが非常に大事なことなので、前回も入れたような状況で、ちょっとまた農業関係も入れてほしいんですけどね。

◎野崎隆太委員長

暫時休憩をいたします。

休憩 午前10時39分

再開 午前10時40分

◎野崎隆太委員長

それでは休憩を解いて会議を再開をいたします。

具体的にどのような文言にさせていただいたらいでしょうか。

宿委員。

○宿典泰委員

「農林水産に関する事項」ということで追加をよろしくお願いします。

◎野崎隆太委員長

はい、分かりました。

では、この「第1次産業振興に関する事項」というのを、「農林水産に関する事項」ということで変更させていただきたいと思います。

ですので、新たに「商業活性化に関する事項」、「観光振興に関する事項」及び「農林水産に関する事項」を追加して、「観光交通対策に関する事項」の調査を終了する、このような形で閉会中の継続審査とさせていただければと思いますけども、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

それでは御発言もないようでございますので、閉会中の継続審査の調査項目として委員長から、改めて提案差し上げます。

1つ目に、「中心市街地活性化に関する事項」、2つ目に、「地域公共交通に関する事項」、3つ目に「商業活性化に関する事項」、4つ目に「観光振興に関する事項」、5つ目に、「農林水産に関する事項」を提案をいたします。

これについては、閉会中の継続審査・調査項目とすることに決定をし、会議規則第109条の規定により、議長に申出をいたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎野崎隆太委員長

御異議なしと認めます。そのように決定をいたしました。

以上で、御審査いただきます案件の審査は終わりましたので、これをもちまして産業建設委員会を閉会をいたします。

閉会 午前10時42分

上記署名する。

令和4年12月15日

委員長

委員

委員